

教科名	音楽	週時間数	1. 3	学年	1
使用教科書 及び 副教材等	中学生の音楽1 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) コーラスフェスティバル (正進社)				

指導の重点	「学び合う意欲」「表現力」		
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱う内容について、興味・関心をもって取り組める。</li> <li>・のびのびと声を出し、歌唱することができる。</li> <li>・基本的な音楽用語等を学び、指示された奏法に準じて演奏できる。</li> <li>・音楽について言葉で説明するなどして、イメージや感情を意識し、音楽に対する感性を働かせることができる。</li> </ul>		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習は一斉授業の形で進める。</li> <li>・合唱練習ではパートに分かれて練習する。</li> <li>・必要に応じて、ペアやグループなどの小集団を使って練習に取り組む。</li> </ul>		
定期考査	出題方針	授業の内容を中心に出题する。	
	範囲	1学期期末	1学期のまとめ
		2学期期末	2学期のまとめ
		学年末	1年間のまとめ
学習方法 (アドバイス等)	授業中にしっかりと話を聞くこと。 自己評価だけでなく、客観的に評価されたことをしっかりと聞くこと。 個人練習、グループ練習、全体練習などの活動に積極的に参加し、目的意識をもって取り組むこと。		

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	① 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜に書かれていること(構成要素・表現要素)が理解できたか。</li> <li>・のびのびと声を出し、表現できたか。</li> <li>・楽器の基本的な奏法を身につけることができたか。</li> </ul>	提出物 定期テスト 活動の様子 実技テスト
	② 思考力、判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その曲が作られた背景や曲についての理解ができたか。</li> <li>・楽譜に書かれている表現を歌唱や器楽で表すこと、または工夫ができたか。</li> <li>・曲や歌詞の内容にあった表情で表現することができたか。</li> </ul>	実技テスト 定期テスト 活動の様子 振り返りシート
	③ 学びに向う力、 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容に関心を持ち、授業に集中してまじめに取り組んでいるか。</li> <li>・プリントなどの提出物を丁寧に仕上げる事ができたか。</li> <li>・その音楽が生み出す楽曲の雰囲気を感じ取ることができたか。</li> </ul>	定期テスト 活動の様子 振り返りシート

年間授業計画書					
学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4	歌声をつくろう	校歌 生徒会歌 混声二部合唱 「We'll Find The Way」 「主は冷たい土の中に」 「カリブ夢の旅」 他	8	・姿勢に気をつけて、恥ずかしがらずに大きな声で 歌えるようにする。 ・リズムを感じながら歌う。
	5				
	6	楽曲の雰囲気を感じ取って聴こう	鑑賞曲「魔王」	3	・曲想の変化を感じ取って、情景を想像しながら鑑賞する。
	7				
2	9	合唱の喜び	各クラスの合唱曲	8	・声部の役割を意識し、全体の響きに興味をもたせ表現する。 ・互いの演奏を聴き合い評価し合う中で、ひとつの音楽をつくることの楽しさやすばらしさ、難しさを感じ取る。
	10				
	11	イメージをふくらませて聴こう	鑑賞曲「四季」	3	・場面を想像しながら鑑賞する。 ・弦楽器の響きを感じ取る。
	12				
3	1	心をこめて歌おう	三送会の歌 混声二部合唱	6	・歌詞の内容や曲想を感じ取る。 ・曲想にあった歌声について理解し、表現することができる。
	2				
	3	日本の楽器の響き 創作活動	鑑賞「越天楽・六段の調べ」 他 ソフトを使い作曲する	4	・音楽の構成を知り作曲することができる。